

ペーテル・パールショニ ヴィオラ奏者 1975年 ブダペストに生まれる。2000年にリスト音楽院ディプロマ取得。在学中フェレンツ・ラドシュ、ジュルジ・コンラードのもとで研鑽を積む。また、マスタークラスにおいてジュルジ・クルターク、ディーネシュ・ジグモンディ、ピンカス・ズッカーマンに師事。パリ音楽院ではジェラルド・Causeeのもとで学ぶ。

マルタ・グヤーシュ、ペーテル・チャバ、ゾルターン・コチシュ、ペーテル・ナジ、Rivka Golani、ミクローシュ・ペレーニ、バルナバーシュ・ケレメン、クリシュトーフ・バラティ、イシュトヴァーン・ヴァルダイ、ヴィルモシュ・サバディ、デジュー・ラーンキ、アンドラーシュ・アドリアーン、ゲルゲイ・イツェーシュ、ラースロー・ハダディ、グリマル・ダーヴィドと共に、国内外で室内楽のコンサートを意欲的に行う。

サンタンデル室内楽フェスティバル、ラヴィニア音楽祭（シカゴ）、モーストリーモツアルト（ニューヨーク）、アマデオ（アーヘン）Brionnais室内楽音楽祭、シュェベルティアーダ（フェルドキルヒ）など、数々の音楽祭に出演。また、ソリストとしてコンチェルトブダペシュト、リストフェレンツ室内合奏団、ハンガリー放送響、エルケル・フェレンツ室内合奏団、ブダペスト弦楽合奏団と協演。

ハンガリーの現代作曲家の作品の発表にも力を入れており、一年に数回は新曲の発表や委託を行なっている。多くの作曲家が作品を献呈している。これまでに、ジュルジ・クルターク、ペーテル・ウトゥブシュ、ソフィア・グバイドゥーリナ、ファビアーノ・パニセッロ、ステイーブ・ライヒの各氏の作品を発表。また、ロンドン、トリニティ・カレッジ、ティハニ音楽週間、ニューヨーク バードカレッジに於いて後進の指導にも当たっている。

アカデミアカルテット、シヨモジカルテットの創立メンバーであり、1999年にはケラーカルテットのメンバーでもあった。2000年よりコンチェルトブダペシュト交響楽団のソロヴィオラ奏者を務める。2004年から2005年にかけてフィッシャー・アニー奨学金を受ける。2007年からはウムゼ 現代作品室内合奏団のメンバーとしても活躍。2010年より、ブダペスト祝祭管弦楽団にソロヴィオラ奏者として多く迎えられている。

精力的に国内外の忘れられた名曲の発掘に取り組み、フンガロトンからCDとして発売されている。もっとも新しいCDでは、イエヌー・フバイの全ヴィオラ作品が収録されており、ピッツィカート、ストラド、グラモフォンなどの国際的に有名な音楽誌上で絶賛された。